

令和元年6月15日

北関東フォーラム

於：シムックス

## 中齋塾 北関東フォーラム 平成31年度 第6回

田島監事の素読はとても氣合いが入っていて、ピリッとききました。大分読み込まないと、ああいう読み方は出来ないと感じました。もっとも田島さんは悟道会や亦楽会で学んでおられたので、かなり年季が入っているわけです。亦楽会は論語の勉強会で、岡本理事長が主宰したり田島さんが主宰していました。考えてみると中齋塾には、前から論語に馴染んでいる方がかなりいらっしゃるわけですから、時々、講釈して下さると良いなと思っています。

### 寝る時の心持ち

前回聞き忘れてしまったので、今日は恒例の質問から参ります。

今朝、私は楽しく起きられました。というのは、夜寝る時に質問をしたことが身体にとっても良い影響を与えていると感じたからです。今週は営業所の懇談会等で一週間ずっと動き続けたので、目も開けられないほど疲労困憊していました。昨夜寝る時、<起きたら元気いっぱい、若人の身体・若人の頭>と思って寝たら、体力が戻っていました。朝、お腹が空いて朝ごはんを沢山食べました。ですから夜寝る時にどういう気持ちで寝るか、これが肝心だと改めて思いました。

では、お聞きします。もう6月ですから半年間でお考え下さい。

○ この半年間、良い日が続いたと思う方

何度も申しますが、くれぐれも客観で考えない。主観ですから、自分の心の中で良いなと思えば、良いのです。

ただ、その方にとって本当に困った、大変だなと思うことがあると、手が挙げられないのが普通です。以前は必ず手を挙げる方向に誘導しようと思って質問しましたが、自分自身でも手の挙がらない質問がありますから、全部一色に塗ることは無理だなと最近は思っています。例えば、人の生死に関わるものは自分では如何ともし難い。それをどうやって受け止めるかは大変なことです。なかなか詰め切れない部分があります。

○ ここ半年間、比較的嘘をつかなかった方

皆さん手が挙がりました。では、続けて少し意地悪なことを聞きましょう。

○ ここ半年間、いっさい嘘をつかなかった方

大分減りました。皆さん正直ですね。いっさい嘘をつかないというのは難しい。ですから「比較的」と緩和して宜しいと思います。

これが日本の国がらだと思えます。黒か白か、イエスかノーか、右か左かでスパッと切らずに、曖昧な部分を残す。意識的に救いを残す。二者択一にしないというのが、日本の良いところですよ。100%の結論を出さないで、必ずどこかに余裕を残す。それを国がら、国民性として持っていることは大変なことだと思っています。

○ この半年間、有難うと言ひ、有難うと言われることが多かった方

手が挙がらなかった人は、有難うという言葉を使い続けるようにしていると、有難うと言われるようになります。有難うと言われるたびに笑顔になるのがよいですね。顔施は最高のお布施です。

○ この半年間、健康法を続けている方

頭の柔らかい人は身体も柔らかい、身体が硬い人は頭も固いと思っています。身体が柔らかい人は、比較的笑顔が多いと感じます。営業所回りをすると、若くても身体が硬い人が沢山います。意外にも事務を執る人が身体が柔らかくて、がっしりして力がある人が硬いのです。そういう人は自分の体力に自信があるので、身体の手入れをあまりしていませんのでしょ。

健康法は自分にあつたものを、その年代年代で身に付ける必要があります。例えば、酷い腰痛で痛みがある人は、呼吸法だけでも実践するとよいでしょう。呼吸法によって身体中にきちんと血液が流れます。やり方は、壁に背中・踵・頭をつけてきちんと立ち、腹式呼吸で、お腹を押さえて口から息を吐き、お腹を緩めて鼻から吸ってお腹を膨らませる。これでリズムをとればよいでしょう。それとリンパマッサージで、自分の身体を触ってリンパの流れる所に老廃物を送ってやるようにすると、身体の奥の方から今の状態が少しずつ良くなって来ると思えます。

ということで、健康法は自分の身体にあつた手入れをしましょう。皆さん大体身に付けておられると思いますので、あとはそれにちょっとプラスαをすればよろしいでしょう。

○ この半年間、自分磨きを比較的よくやっている方

自分磨きは何のためにやっていますか？ 孔子のお弟子さん達のように、良いポストに就きたいからですか？ 皆さんは人格を磨きたいと思つて集まっているのでしょから、孔子のお弟子さんよりも遥かに高尚だと思えます。

自分磨きも、自分にあつた磨き方をするとよろしいでしょう。出来れば自分と同じくらいの力量か、少し上のレベルの人と話をする機会を増やすと切磋琢磨になります。ですか

ら、今日のランチミーティングは良い機会だと思います。

○ 昨晚、明日以降を過去形でイメージして眠れた方

だいぶ手が挙がるようになりました。そのうち具体的な発表をして戴きたいと思っています。今日のランチミーティングは、第1回目ということで自己紹介をするそうですから、今後は自分磨きをこうしているとか、過去形でイメージしたこと等を発表すると更に全体のレベルアップになると思います。期待しております。

### 論語の読み方・・・今の社会、自分自身に置き換えて考える

では、論語の視点に参ります。本日は陽貨篇 13～15 です。

【十三】子曰く、しいわ きょうげん とく ぞく郷原は徳の賊なり。

「郷」は普通の世の中。「郷原」とは、世の中に媚びる人です。吉川幸次郎先生は「えせ君子」と訳しています。言い方を変えると、八方美人ということです。

孔子が言うには、えせ君子は道德のカタリ（盗人）だ。

現代に置き換えて眺めてみましょう。そのまま時事評論に繋がります。

「郷」を世界各国と捉えると、「原」は日本です。そうすると、今日の日経新聞一面の見出しに「**ホルムズ海峡タンカー攻撃 中東依存 日本に継承**」とありました。

世界各国から見ると日本は、悪く言うと八方美人、よく言えば悪い関係を持たない国と捉えられています。日本は戦争をしない国ですから。

当事者のイランとアメリカから見ると、今のところ頼れるのは日本だけだから、自分の国の代理人になってくれるのではないか・・・ということで、安倍さんは両方から頼まれて、行けばそれなりの打開の道があるだろうと思いイランに行った。その交渉をしている最中に、日本のタンカーが攻撃されたわけです。

それを受けて、トランプさんはイランの仕業だとイラン叩きに走り、イランの方はイランを貶めようとする連中の仕業だと言っています。真相は分かりませんが、はっきりしているのは、日本が馬鹿にされている状況が生まれたということです。日本を辱めることで利益を得るのは誰か・・・それを見る必要があると思います。

ですからこの論語を現代に置き換えて、日本は特殊な国で、安倍さんは君子のように見えるけれども、もしかすると八方美人のえせ君子かもしれない・・・と、そのまま読めばよいのです。

そうすると、安倍さんの化けの皮を剥がしてやろうじゃないかと思っている連中の仕業

ではないか、という説もかなり有力だと私は思っています。

また、違った見方をすると、この記事からホルムズ海峡の封鎖の危機が見えます。ホルムズ海峡が封鎖されたら日本にどのような影響が出るのでしょうか。

横の知識で見れば、原油が入って来なくなります。そうすると日本の電力事情はどうか。ご存知のように原子力発電所は現在、テロ対策が思うように進んでいませんから停止の可能性が高い。そうすると火力発電ということになりますが、原油がなければ動きません。ですから日本のエネルギーは今、風前の灯になっている・・・という具合に横の知識を広げて連想できます。

では、警備会社の立場で見るとどうでしょうか。日本の警備会社は法律で銃火器を持つことが出来ません。これは世界的には珍しいわけです。私はかなり前から、日本の国は大混乱になって治安が悪化する。そうすると、いずれ政府の要請を受けて銃を所持する警備会社が生まれるだろうと考えていました。今、世の中の流れが、どんどんそういう方向に向かっています。

日本の国はととてもかわっていて、日本の警備会社は銃を所持出来ない法律がありながら、日本の船舶がホルムズ海峡を通過する際は、銃を携帯した警備会社が警備しなければいけないことになっています。ですから日本の警備会社は今、自衛隊上がりの銃器の扱いに慣れた警備員を採用して、業務提携した中東の警備会社に送り込む。日本人警備員がいるということで、中東の警備会社に仕事の依頼が来る。業務提携しているので若干の利益が入って来る。・・・そういう図式でホルムズ海峡と付き合っています。これから警備会社には、元自衛隊員で銃火器になれた人間が増えてくると思っています。

ということで、一つの記事から横の知識を使ってずっと広げられます。それに縦の学問で結論を出していく。論語もそういう読み方をしてみましょう。

**【十四】 子曰く、道に聴きて塗に説くは、徳を之れ棄つるなり。**

孔子が言うには、ちょっと小耳にはさんだものを直ぐに人に説く、これは徳を棄てているようなものだ。

「道に聴きて塗に説く」とは、口耳の学と言います。自分で調べもせずに、聞いてすぐ喋ることです。自分でよく考えて、腑に落ちたなら実行する。聞いて直ぐに手を打つと失敗するとお考え下さい。テレビのコメンテーターがそうですね。テレビ局の都合の良いコメントを尤もらしく喋るけれども、中身が無い。おまけに突っ込まれると、ころっと変わ

ってしまう。最初と最後では正反対のことを平然と言い出す人がいます。

「徳を棄つる」とは、恥ずかしくないのか！ と受け止めればよいでしょう。

中斎塾フォーラムでは陽明学をベースに学んでいます。陽明学は実践です。自分で体験し、考えて、考えて、考え抜いた結論でなければ人さまにお話ししない方がよいでしょう。

前回、イオンの前身の岡田屋がどうやって発展していく道をこしらえたかという話を致しました。昭和21年2月17日に緊急金融措置令が出ました。タンス預金まで銀行に預けさせた上で預金を封鎖し、新円に切り替えました。結果、凄まじいインフレが起きたわけです。岡田屋の社長だった小島千鶴子さんは、ドイツが敗戦処理のあとハイパーインフレが起き、銀行が封鎖されたことを学んでいました。日本でも同じことが起きるだろうと考えて、持っているお金で商品を買集めました。それが昭和21年1月のことです。翌月2月17日には旧円が使えなくなりました。翌3月に焼野原にお店を再開したところ、客が殺到し新札がどっと入ってきたわけです。それを元に、更に商品を買集めるという良い循環で岡田屋が発展する基を作り、7月には、まだ学生だった弟、岡田卓也を社長に据えました。

ここで言えることは、世の中が大きく変わる時は、過去の歴史から似たような事例を見つけて、自分自身に置き換えて考える必要があります。過去の歴史を学んで、横の知識を増やしておいて、自分自身にどうやって活かせるか考える。そういう使い方をすべきです。

【十五】子曰く、鄙夫は与に君に事うべけんや。其の未だ之を得ざるや、之を得んことを患え、既に之を得れば、之を失わんことを患う。苟も之を失わんことを患うれば、至らざる所無し。

友人は選びなさいということです。

孔子が言うには、品性下劣な人とは一緒に仕官することはできない。地位や権力を欲しいと願ってもなかなか自分の願うポストに就けないことを憂え、ポストに就いたなら、これを失うことを心配するあまり、どんなことでもやってしまう。

「其の未だ之を得ざるや、之を得んことを患え」・・・ルノーと日産の関係にぴったり当てはまります。43%も株を持っていながらやり方が下手だと思いますが、ルノーは自分の思い通りに日産を吸収するべく手練手管をしています。ルノーは日産三菱を吸収合併出来ないことを憂え、悩み苦しめ、フランス政府におべっかを使っている。

「既に之を得れば、之を失わんことを思う」・・・こちらはゴーンさんです。今回ゴーンさんは（こうならないように一所懸命考えていたにもかかわらず）騙されて会長から引きずり下ろされました。ゴーンさんは地位を守るために何でもやってやる！ と思って実行に移したようですね。

引きずりおろされるということで、話が飛びます。今回の御譲位に関して、マスコミは生前退位という言葉を使いました。それに対して美智子さまが「生前退位という報道に接し、大変な衝撃を覚えました」とインタビューにお答えになったという報道が一瞬出ました。

私は、美智子さまの言われた「大変な衝撃」がどの程度のものか分からなかったので調べました。「令和」の考案者といわれる中西進先生が二松学舎で教えていた時の弟子の一人が私の友人で、会って話を聞きました。彼が言うには、退位とは「位を退けさせられたまう」と読み、天皇の意思に反して無理やり位を剥奪されるという意味だそうです。皇室の歴史の中で、天皇陛下の位を引きずりおろされたのは3人。中でも酷いのは淳仁天皇で、位を剥奪され淡路島に流されました。翌年、真偽のほどは定かではありませんが、毒を盛られて亡くなられたようです。生前退位とは、それを連想させるわけです。

美智子さまのお言葉の後は生前退位という言葉は使われませんが、「御退位」と書いているのは産経新聞だけです。他の新聞は「退位」という言葉になりました。

### 時事評論

今回の安倍さんのイラン訪問に関して、6/14の新聞3紙を見比べました。読売新聞は安倍さんとイランの最高指導者ハメネイ氏の会談について、「**ハメネイ氏、米と対話拒否**」という見出しで、結構きつい言い方です。朝日新聞は「**ハメネイ氏、米との対話は否定的**」という見出しですから、少し柔らかい。中身はたいして変わりませんが、どちらを読むかによって、印象が変わります。読売と朝日は一面のトップにハメネイ氏との会談が出ていますが、日経新聞のトップは「**ホルムズ海峡タンカー攻撃**」で、その下に小さく「**イラン最高指導者 首相と会談**」という記事がありました。ですから扱いが全然違いますね。これだけ新聞社のスタンスが違います。

そうなる自分が判断するための材料をどうやって集めるか……。どの新聞を読むか、ネットはどういうものを見るか、今の時代、フェイクニュースも多いですから、よくよく見極める必要があります。

また最近では、SNSも大きな情報ツールになっています。例えば、世論調査は今まで新

聞社やテレビ局が電話をかけて聞いたわけです。今は、SNSで投稿されたツイート数を調査する会社があるのですね。ですから世論調査のやり方がまるで変わりました。ちなみに最近の投稿数のトップ3を申しますと、イチロー選手が引退発表した直後1時間のツイート数は8万件超えです。これが第3位。次に多かったのが、オリンピック・パラリンピック招致決定の時で、28万件です。ダントツに多かったのは新元号「令和」が発表された時で、1時間の間に98万件ですから、どれだけ国民、特に若い層が気にしているかということになります。

### 日本のくにながら

最後に、中斎塾フォーラムの基本哲学は「足るを知る」です。イランも突っ張らないで、ほどほどにすればよいのです。トランプさんのアメリカファーストも酷いですが、アメリカの歴史をみると、同じようなことが繰り返されています。ですから過去にアメリカがどういうことをしてきたか、戦争がどうやって起きたかを調べてみれば、今、とてもヒヤヒヤの綱渡りの時代に入っていることが見えます。

そこで、今日のテーマの「日本のくにながら」が出てきます。紹介書籍を回覧します。『ひらがなでよめばわかる日本語』（中西進著 新潮文庫）です。日本語は、日本のくにながらを顕著にあらわしています。日本の文化を支えているのが日本語です。それから、『つぼん讃歌』（出雲井晶著 神社新報ブックス）と『縄文人に学ぶ』（上田篤著 新潮新書）です。日本のくにながらについて、色々と書いてあります。

「日本のくにながら」というテーマにしたのは、今、＜日本は良い国だなあ＞と世界各国から見られるチャンスが来たと思っています。＜日本は神秘的な国で、我々とは違う＞と世界に知らしめる巡り合わせに来ています。なぜ、トランプさんが安倍さんと仲良くしたかということ、いくつか理由があると思いますが、アメリカは建国して二百数十年ですから歴史の古い国に対して畏敬の念を覚えるのだと思います。

日本の皇室の歴史は2600年以上にわたり、しかも男系で続いています。この重みは凄まじいものがあります。皇室という存在があって初めて、日本のくにながらや日本民族というものが納得できます。日本のくにながらは、一言で言うと「気品のある国」「品格の高い民族」であると世界各国から見られています。ところが日本人はあまりそれを意識しません。意識しないから、また良いのだと思います。

2600年以上も続いている皇室の存在、それから他の国々の文化を吸収し、咀嚼し、自分たちの血肉にしていく能力（日本語がそれを体現しています）、これは非常に珍しい国と言えます。また、これから、日本文明という言い方がもっともっと世界各国で広がると思

っています。ヨーロッパ文明やアジア文明というのはその地域全体を表しますが、日本は単一の国で文明と言われる。これも他の国にはありません。

そこら辺を詰めていくと、日本には「足るを知る」という考え方が根底にあって、それが知らず知らずの間に他の国にも伝わっていく、そういう巡り合わせだと思っています。今回の譲位（天皇陛下が御世を替わられることによって生まれる神秘的な儀式）によって、それを世界各国に発信し、日本だけでなく世界の人がそれを体験することになるわけです。ですから今、世の中を変えていく大きな時代の巡り合わせに入って、我々はそこに立ち会っている。そうお考え戴いて、ご自分の今後の生き方を決めていかれるとよろしいと存じます。